



大内社協だより

第97号

令和7年11月1日
発行/大内地区社会福祉協議会
☎083-927-7712
編集/広報委員会
印刷/㈱桜プリント社
☎083-941-1600

山口市避難行動要支援者避難マイプラン研修会及び小地区見守り訪問活動研修会

日 時 令和7年8月31日(日) 9:30
会 場 大内地域交流センター 講堂他
内 容 (1) 避難行動要支援者への避難支援について
(2) 小地区見守り訪問活動について
(3) 北東地域包括支援センターから
(4) グループワーク (自治会・町内会別)



大内地域交流センター・山口市社会福祉協議会・北東地域包括支援センターからの説明の様子

「避難マイプラン」とは、平時から、いざという時のための対応を事前に把握し、本人および家族と避難支援等関係者、行政とで、共有しておくことで、災害時等に少しでも避難支援を得られやすくしようとするものです。また、これを基に、市社協として、普段から見守り訪問活動をされている民生委員、福祉員、自治会・町内会と連携することで、素早く合理的に避難行動をすることができます。

自然災害、「命」を守る行動を！(ご自身で、地域の力で)最優先に!!



大内地区を流れる仁保川と問田川



大内地域防災・外水内水氾濫マップ



民生委員・福祉員・自治会
町内会による確認作業

日ごろからの備えが大切です。平時こそ「命を守る行動」を！

- (1) 避難方法や連絡方法を家族で話し合しましょう。
- (2) 非常持ち出し品を用意しましょう。
- (3) 地域で行われる避難訓練には積極的に参加しましょう。



～心よりお祝い申し上げます～ 「祝 敬老会」

各会場では工夫が施され、終始「笑顔と会話」が…



永年にわたり地域の発展に貢献された高齢者の方々（大内地域には70歳以上の方：約5,000人）をお祝いの会です。

各自治会・町内会では、地域の実情に合わせ、それぞれの形で高齢者の方に敬意を表されていました。大内地区社会福祉協議会では、敬老行事に対しまして、ささやかではありますが「敬老行事等経費」を援助しています。

「敬老の日」の由来をご存じですか？敬老の日は、「多年にわたり社会に尽くして来られた高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする」日です。ところで、始まりはいつなのでしょうか？

敬老の日のルーツは、1947年（昭和22年）兵庫県多可郡野間谷村(今の多可町)の村長さんが、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」という理念のもと、9月15日を「としよりの日」として制定したそうです。（9月15日にしたのは、①農作業が一段落する時期 ②天気が良く、お年寄りが外出しやすい時期）

また、60歳（還暦）・70歳（古希）・77歳（喜寿）・80歳（傘寿）・88歳（米寿）・90歳（卒寿）・99歳（白寿）・100歳（百寿：ももじゅ・紀寿：きじゅ）と、年を重ねるごとに称号が与えられるようになります。超高齢社会を迎えていますが、いずれにしても労いや感謝の気持ちを表すことが大事ではないでしょうか。

認知症サポーター養成講座 8月28日

9月21日は、『認知症の日』（アルツハイマーデー）でした。国際アルツハイマー病協会は、1994年世界保健機関（WHO）の後援を得て、9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、以降はこの日を中心に認知症の啓発を実施しています。わが国では2024年1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されたことにより、2024年から毎年9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と定められました。（厚生労働省の資料より）

北東地域包括支援センターでは、この趣旨をより多くの住民の方に啓発し、いきいきとした暮らしができる地域を目指されています。



北東地域包括支援センターからの講義



真剣に講義を傾聴される受講者

フレイル予防体験（お口のフレイル・自動車学校）



BMIを導き出す計算に取組中

令和7年9月25日（木）10時

大内の館にて、今年度2回目のお口のフレイル（栄養とお口の体操＋歩行）を開催しました。参加者は5名と少なかったのですが、少人数の良さを感じられ、皆さん大変喜んでおられました。次回も参加したいと意欲的でした。



管理栄養士さんからの受指導



「シミュレーター」の体験をしました。初めての経験で最初は慣れなかったのですが、教官からいろいろアドバイスをいただき、薄暮や雨降りの運転、さらには、あおり運転の模擬体験をすることができました。特に、あおり運転の場合、とても緊張しました。いろいろな場面を体験でき大変良かったです。（感想）

フレイル予防体験の一つとして、脳や視覚・聴覚・運動機能等を使う運転技能に焦点を当て、そうごう自動車学校の協力で実施しています。今後の運転に役立ちました。

日時 令和7年10月2日(木)

9:00～11:30

会場 そうごう自動車学校



実技が終了した後は、そうごう自動車学校より個人向けに評価（運転行動診断票）をいただきました。項目別に診断結果（良・不良）が出され、受講者の皆さんは一喜一憂されていました。さらに、警察署・交通安全協会からの指導があり、交通安全への意識が高まりました。

放課後児童クラブ（地震の避難訓練と不審者対応の避難訓練）

地震を想定した避難訓練を実施しました。学級間が連携し、子どもの命を最優先するために支援員・補助員ができる行動について学びました。また、避難後は、東日本大震災で多くの犠牲者を出した「大川小学校」のことについても学びました。特に、避難訓練の大切さと判断力・行動力が生死を分けることにつながることを知りました。

「ドアを開けろ!」「早くしろ!」と、犯人に扮した警察の方が突然現れ、学級内に激震が走りました。大変緊張感のある訓練でした。しかし、支援員は臨機応変に役割をこなし、子ども達の安全を確保しました。事後は、子ども向けに身の安全を守る行動について学びました。また、支援員には刺股の指導もしていただきました。



愛の花束（香典返し）

（令和7年6月1日～令和7年10月31日）

次の方よりご寄付をいただきました。
ご冥福をお祈り申し上げるとともに、厚くお礼申し上げます。



ご芳名	ご住所	預託の趣旨	備考（金額掲載）
梶原 稔 様	下千坊	御令室 梶原信子 様	150,000 円

『赤い羽根共同募金』『歳末助け合い募金』へのご協力をお願いします！



令和7年度のポスター



街頭募金の様子
（ゆめタウン山口）

たくさんの方から募金をいただきました。ありがとうございました。

知っていますか？「共同募金」：戦後間もない昭和22年（1947年）に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初は、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進のために活用されるようになりました。社会の変化の中で、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「自分の町をよくするしくみ」として、取り組まれています。令和7年度の共同募金運動における全国の共通テーマは、「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」です。

新しい麻雀卓(麻雀牌)を購入！



今年は戦後80年。館内に資料（書籍）を陳列しています。（二度と過ちを繰り返さない）

大内地区社会福祉協議会

大内地区高齢者生きがいセンター「大内の館」

〒753-0221 山口市大内矢田北5丁目8番28号 TEL 083-927-7712

大内地区社会福祉協議会は、「大内の館」内にあります。お気軽にお越しください。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金を財源としています